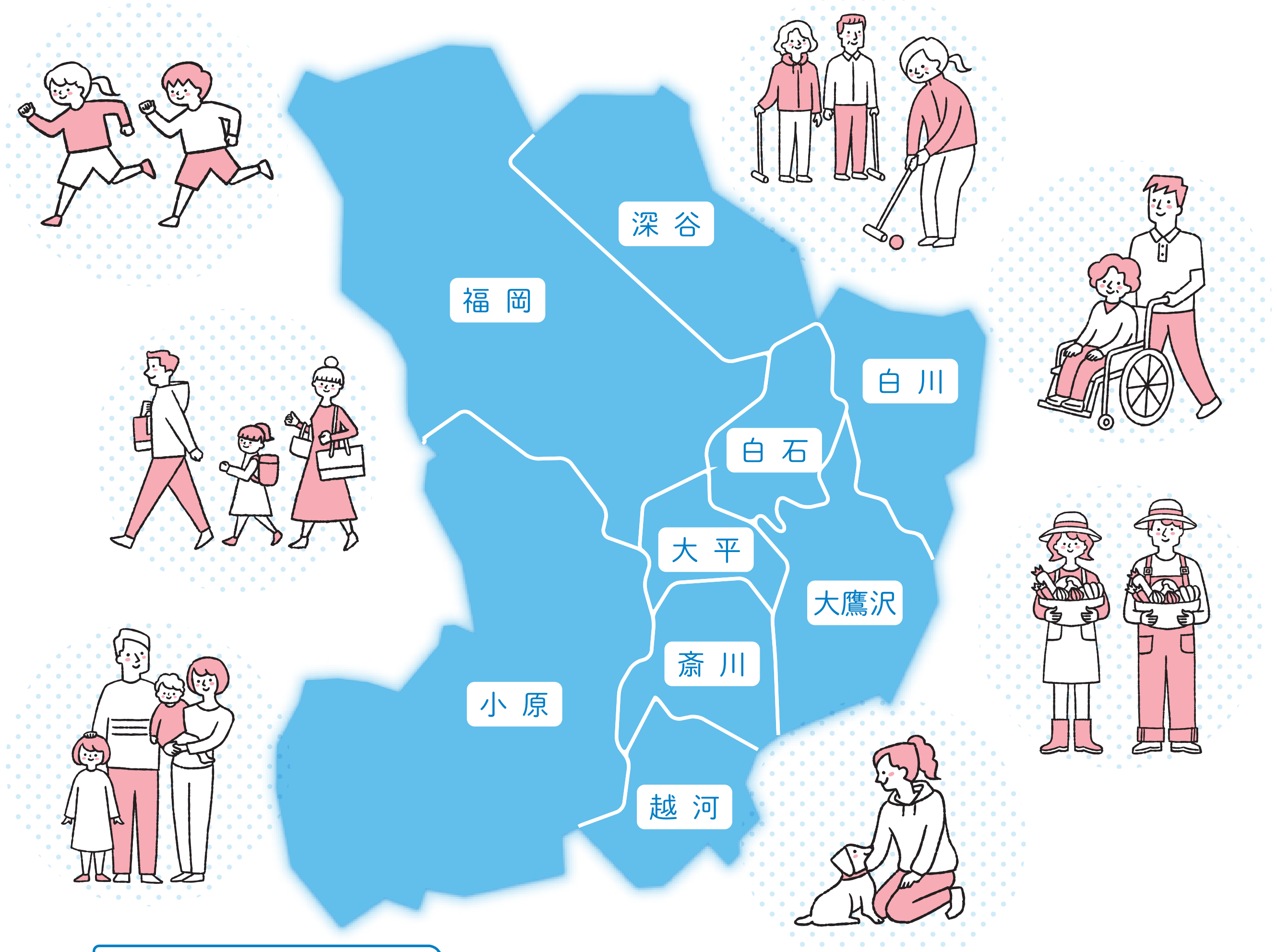
概要版

第２次白石市地域福祉活動計画

いつまでも安心して共に生きる地域づくり



●地域福祉活動計画とは…

近年、少子高齢化や単身世帯の増加、個人の価値観の多様化などにより、家庭や地域で支え合う機能の弱体化、社会的なつながりの希薄化が進み、地域の活力がなくなり疲弊しつつあります。また、地域社会の変化により、公的サービスだけでは対応できない多様な生活課題が新たに顕在化しています。

これらの課題を解決していくためには、それぞれの地域において互いに助け合い、支え合う住民主体の地域福祉活動を推進していく必要があります。

令和３（2021）年度を初年度とする「第六次白石市総合計画」では、各地域ごとに現状と課題から「まちづくり宣言」を掲げています。この「まちづくり宣言」を基本としつつ、福祉的な観点から住民主体の地域福祉活動を活発にするため、「第２次白石市地域福祉活動計画」を策定します。

令和８年３月
社会福祉法人白石市社会福祉協議会

基本理念

いつまでも安心して共に生きる地域づくり

少子高齢化や人口減少、近隣関係の希薄化や孤立化など、地域においては福祉課題が山積しています。地域の子どもから高齢者の方まで、生涯を通じて安心して暮らせる地域づくりを目指します。

基本目標

基本理念に基づき、目指す姿の実現に向けて、以下の４つの基本目標を設定します。

基本目標１　地区住民全体での支え合いづくり

複雑化、複合化する様々な課題解決のため、地域の様々な声を聞く体制づくりを進め、地域住民全体で互いに支え合う地域を目指します。

基本目標２　地区住民による福祉課題の協議・協働の場づくり

地域福祉の課題解決のため、地域で活動する住民が多世代で参画しやすい地域づくりを支援し、その活性化を図ります。

基本目標３　福祉情報共有によりニーズにマッチした支援体制づくり

必要とする各種サービスを必要とする人が受けられるよう、関係機関と連携強化を図り、きめ細かい情報提供の充実に努めます。

基本目標４　災害時も地域住民で助け合える安心のまちづくり

障がい者や高齢者など、福祉支援が必要なだれもが安心して生活できるようなまちづくりの体制強化に努めます。

計画期間

本計画の期間は、令和８（2026）年度から令和12（2030）年度までの５年間とします。
なお、国の政策動向や社会情勢、地域の状況の変化により必要に応じて見直しを行うものとします。

計画の位置付け

本計画は、「白石市地域福祉計画」と一体的に策定し、地域福祉の推進に向けた取り組みとして、計画的に実践するための具体的な行動計画となるものです。地域福祉の推進には「自助、互助、共助、公助」の連携と協力が必要です。重層的に支え合うことで、誰もが自分らしく最期まで安心して暮らせる地域社会の実現を目指すものです。

各地区における地域の福祉課題及び具体的取り組み

本計画を実践するため、各地区毎で懇談会を開催しました。幅広い年代から各地区の福祉課題、基本目標、取り組むべき課題などを聞き取り、実情を踏まえ、方向性などを整理しました。

白石地区

目標１　みんなで支え合う「見守りのあるまち」

地域住民が安心して暮らせるように、地域全体で見守り合う体制をつくる

① 地域住民による「あかりチェック」「郵便物チェック」など日常的な見守り活動の推進
② 民生委員・自治会・地域住民の連携による見守り体制の再構築
③ 災害時の避難支援体制の整備（避難行動要支援者の把握と支援方法の検討）と防災訓練への多世代参加

目標２　世代を超えてつながる「交流のあるまち」

子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も、誰もが気軽に参加でき、関わることが楽しいと思えるような地域づくりを目指す

① 地域の子ども達の福祉活動への参加促進
② サロン活動や地域の行事に「１人でも多く誘ってみる」ことを意識する、サロン全体会開催による世代間交流の場づくり
③ 若い世代の意見を取り入れた地域行事やイベントの企画・実施

目標３　暮らしやすく誇れる「魅力あるまち」

住民が地元を誇りに思い、安心して暮らし続けられるように、地域の環境や仕組みを整えていく

① クリーン作戦を通じて空き家や空き地周辺の環境を整え、危険箇所などの情報は地域で共有する
②「どこに相談すればいい？」「どんな制度があるの？」という声に応え、福祉や防災、子育て支援などをテーマに勉強会を開き、制度や相談先を知る機会をつくる
③ 移動販売や外出支援などの情報を地域で共有し、必要な人に届ける

越河地区

目標１　みんなで声をかけあい助け合える地域に！

お互い声をかけ合い困りごとを助け合える地域へ

① ゴミ出し・買い物など、日常の困りごとに声をかけ助け合える地域に
② 各種団体が連携し、地域で助け合える支援活動等を整える

目標２　世代を超え人と人がつながる地域に！

各種団体等の活動により世代を超えて人が集まれる地域へ

① オープンカフェやサロンなど、気軽に立ち寄れる居場所を増やす
② 各種団体の連携により、従来の行事を残しつつ、新しい交流の場をつくる
③ 子どもたちが集まれる居場所づくりを
④ 世代間交流を図り、若い世代に越河の歴史と文化を継承する

目標３　安心して暮らせる越河地区に

防犯・防災への対応、福祉制度の活用により安心して暮らせる地域づくりを

① 空き家・遊休地等やクマ出没への安全対策による安心して暮らせる地域づくり
② 災害時、近所の高齢者等へ声をかけ助け合える地域づくり
③ 福祉制度の学習会等により理解を深め有効活用の促進を図る

斎川地区

目標１　みんなで助け合うことができる地域に！

取り残される方がいないような、支え合いができる地域に

① これまでの見守り活動が継続していける地域に
② ささえあいマップ作りなど、地域内で助け合える体制をつくろう
③ 介護予防などを通して地域のつながりをより広めよう

目標２　次世代とのつながりが続く地域に！

若者や子供たちが地域に関わってくれるように

① キッズオリンピックなど、現在やっている活動を継続しよう
② 学校との連携を深め、子どもたちと地域がつながり続ける斎川にしよう
③ 若者が活躍できる地域にしよう

目標３　交通手段がなくても安心して生活できる地域に！

みんなが買い物やお出かけを出来るように

① 歩行が困難な方でもお出かけ・買い物に困らない地域を目指そう
② 買い物が便利な地域をつくろう
③ 高齢者自らが社会に参加できるようにみんなで考えよう

大平地区

目標１　地域のつながりを深め、誰もが顔の見える関係を築こう！

高齢者の孤立や担い手不足、近所付き合いの希薄化といった課題に対して、日常的な声かけや交流の場を増やし、世代を超えて支え合える関係を育てていこう

① 「よってがいカフェ」や「いきいき百歳体操」、「集会所を活用した活動」など、誰でも気軽に参加できる“集いの場”を継続・拡充していく
② 地域行事を復活・再構築し、スマートインターチェンジや道の駅など新たな拠点も活かしながら、地域内外の 交流を促進していく
③ 若者や子育て世代も参加しやすい活動を工夫していく

目標２　地域の課題を共有し、みんなで考え行動する土台をつくろう！

「誰かがやる」ではなく、「みんなで考える」地域づくりを目指し、課題を見える化しながら、住民同士が話し合い、学び合う場を定期的に開いていこう

① 話し合いの場を定期開催し、多世代で地域の課題や将来像を共有していく
② テーマ別のミニ勉強会（移動支援、空き家対策、防災など）を開催し、知識と意識を高めていく

目標３　暮らしの困りごとに気づき、支え合える地域を目指そう！

高齢者の見守りや買い物など、日常のちょっとした困りごとに気づき、地域の中で声をかけ合いながら支え合える関係をつくっていこう

① 移動販売などの生活支援に関する情報を地域で共有し、必要な人が活用できるようにしていく
② 日頃の見守りや声かけを通じ、孤立しがちな人や支援が必要な人、障害のある人に気づける関係づくりを深めていく（顔の見える関係）
③ 避難行動要支援者の把握を進め、災害時の避難支援や安否確認など、日頃から助け合える体制を整えていく

大鷹沢地区

目標１　みんなでつくろう！　笑顔あふれる大鷹沢

世代を超えて支え合い、みんながつながりを感じられる温かい地域をつくろう

① 若者、子育て世代も参加するような地域活動（祭り、防災訓練など）をしていこう
② 既存の団体同士をつなげて活動をひろげていこう
③ 地域活動等で多世代交流を続けていこう

目標２　いざという時、助け合える関係を今つくろう！

地域みんなで命を守り合う「災害に強い地域」をつくろう

① 福祉マップの更新と緊急連絡先カードの活用に向けた取り組みを続けていこう
② 地区内で防災訓練を工夫して毎年繰り返し行っていこう

目標３　声をかけよう、支えあおう、つながる大鷹沢

住民同士が声を掛け合い、安心して暮らせる地域を築こう

① 高齢者、子どもたちへの声かけ・見守り運動を続けよう
② 困っている人に気付ける、見付けられる隣近所同士の交流をしよう

白川地区

目標１　みんなで暮らしを支えあう地域にしよう！

困ったときはおたがいさまの地域へ

① ゴミ出し・買い物・除雪など、ちょっとした助け合いのこころを広げよう
② 地域の活動団体と連携して、地域全体で見守る仕組みを強化しよう
③ 福祉・防災・自治会がつながり、誰も取り残さない支援体制をつくろう

目標２　人と人がつながるあたたかい地域にしよう！

顔を合わせて「元気だった？」と声をかけあえる地域へ

① オレンジカフェやサロンなど、気軽に立ち寄れる居場所をつくろう
② 趣味や健康づくりなど、新しい交流のきっかけをつくろう
③ 季節の行事や豊かな自然を大切にし、世代をこえてつながる地域をつくろう
④ 学校と地域活動が寄り添い、世代をこえた交流を育もう

目標３　みんなが動ける白川にしよう！

行きたいところへ行ける、参加できる地域へ

① 地域の移動支援を考え、外出や参加をあきらめない、誰もが外に出やすい地域をつくろう

福岡地区

目標１　各地区の特色ある活動の地域に！

地域間の交流を今よりも活発化させる地域に	① 地域間の交流を活性化する仕組み作りをしよう ② 隣近所あいさつできる地域にしよう ③ 公民館の事業に積極的に参加しよう

目標２　住民同士互いに支えあい、安心して暮らせる地域に！

地域でささえ合う地域に	① サロン活動を活性化しよう ② ゴミ出し等で困っている人の仕組み作りを検討しよう ③ 民生委員・児童委員の見守り活動を継続しよう ④ 人と人が支え合う自治会活動をしよう

目標３　世代間交流を推進しよう！

世代間が交流できる仕組みを検討しよう	① 誰もが自由に集まれる場を設けましょう ② 地域で話し合う場を設けましょう

深谷地区

目標１　みんなが気軽につながれる地域に！

多世代交流や地域の交流が図れる機会を増やそう	① 公民館やコミュニティセンターなどを活用し、誰でも気軽に参加できる居場所をつくろう ② 地域の運動会や伝統行事の情報を広める方法を学ぼう ③ 地域を超えたイベントを企画し、交流できる場を広めよう

目標２　誰もが安心して過ごせる地域にしよう！

子どもから高齢者まで、幅広く福祉を学び合える地域へ	① 地域内の方々の困りごとを、支え合いなどで解決できるような地域にしよう ② 多世代で楽しみながら福祉について学べる機会をつくろう ③ 移動が不安な方でも、地域みんなで支えあう仕組みをつくろう

目標３　どんな時も助け合えるあたたかい地域を目指そう！

困りごとを抱える人が取り残されないように支える地域へ	① 一人一人が地域の良さや課題に気づき、行動につなげよう ② 地域の見守り・支えあい・災害対策などを見える化し、よりよく連携できるよう、福祉マップをつくろう

小原地区

目標１　つながりの輪を広げ、笑顔が絶えない地域に！

多世代交流が図れる行事を開催し、誰でも気軽に参加できる集いの場をつくろう

① 小原地区全体で集まれる誰でもサロンを根付かせ、みんなで交流を楽しもう
② 子どもから大人まで楽しめる運動会を開催しよう
③ 学区内外関係なく柿渋づくりなどの活動に参加し、地区住民や保護者と交流を図ろう

目標２　地域内で協力し合い、お互い支え合っていこう！

地域内ボランティアの活動を実施し、高齢者の困りごと・生活の不安をやわらげたい

① 有償ボランティアなどの仕組みをつくり、運用しよう
② 地域内交通おらいのくるまを活用し、イベントの参加や外出できる機会を増やそう
③ 公民館だよりを活用して情報を発信し、困った時の解決に役立てよう

目標３　みんなで福祉を学び、支え合う心を育てよう！

話し合える場を設け、支援や対応について学び、地域の福祉課題の解決につなぎたい

① 話し合いの場を設置し、地域の課題をみんなで考えよう
② 専門機関を交えた勉強会を開催し、福祉の理解を深めよう

第２次白石市地域福祉活動計画（概要版）

発行年月：令和８年３月
発　　行：社会福祉法人白石市社会福祉協議会
〒989-0231　宮城県白石市福岡蔵本字茶園 62-1
電　　話：0224-22-5210　　FAX：0224-22-1571